

## がん患者・家族と向き合いよりよいケアを提供するがん看護専門看護師

新潟県立看護大学 成人看護学領域

石田 和子（がん看護専門看護師）

専門看護師は、少子高齢化やがんをはじめとした生活習慣病の増加、医療が高度化・複雑化する中で、さまざまな健康問題を抱える人々に質の高い看護を提供できる専門的な知識と実践力を持ち、実践、相談、調整、倫理調整、教育、研究の6つの役割を果たしています。がん看護専門看護師は2007年4月に施行された「がん対策基本法」による国のがん対策推進基本計画や都道府県がん対策計画による多くのプロジェクトに積極的に参画していますが一般的には、どんな活動をしているか知られていないことが残念で

す。これから、がん看護専門看護師の活動について紹介します。

人は生まれてから周囲の人々の関係性の中で育まれ、そして歴史を紡ぎ、今現在の自己像、自分らしさを形成し生きています。今、日本人が生涯に、男性2人に1人、女性3人に1人ががんを罹患し、がん患者・家族はがんを診断されてからさまざまな悩みや不安を抱え押しつぶされそうになりながら生活しています。そして、がんを罹患した患者は、今まで生きてきた中で感じたことのない死を意識化させ、自己像を大きく揺るがす

ような体験をし、侵襲の大きい治療、治療効果の不確かさ、脱毛などにより自分らしさを失いかけるような体験をしています。そこで、がん看護専門看護師は、患者・家族との信頼関係を基盤として、身体的な症状が辛いこと、在宅での生活を続けたいが社会資源などが分からない、病気に対する不安・苦痛などに耳を傾け、情報提供、セルフケア向上支援、情緒的支援・教育的支援を提供することで適応を推進することを目指し、活動しています。がん看護専門看護師は、がんとともに生き抜くために、気持ちを表出し、疑問を語り、何でも話せ、相談できる存在です。

今、新潟県には10人のがん看護専門看護師が病院や施設で働いています。今後ますますがん看護への社会の期待が

高まる中で、がん看護の質の向上や質の高い医療・看護が受けられることを目指しがん患者・家族の辛い気持ちに寄り添いながら、一緒に考え、がん治療を乗り越えていけるよう日々活動しています。

がんを罹患して辛い時、一人で悩まないで是非、相談し活用してください。

